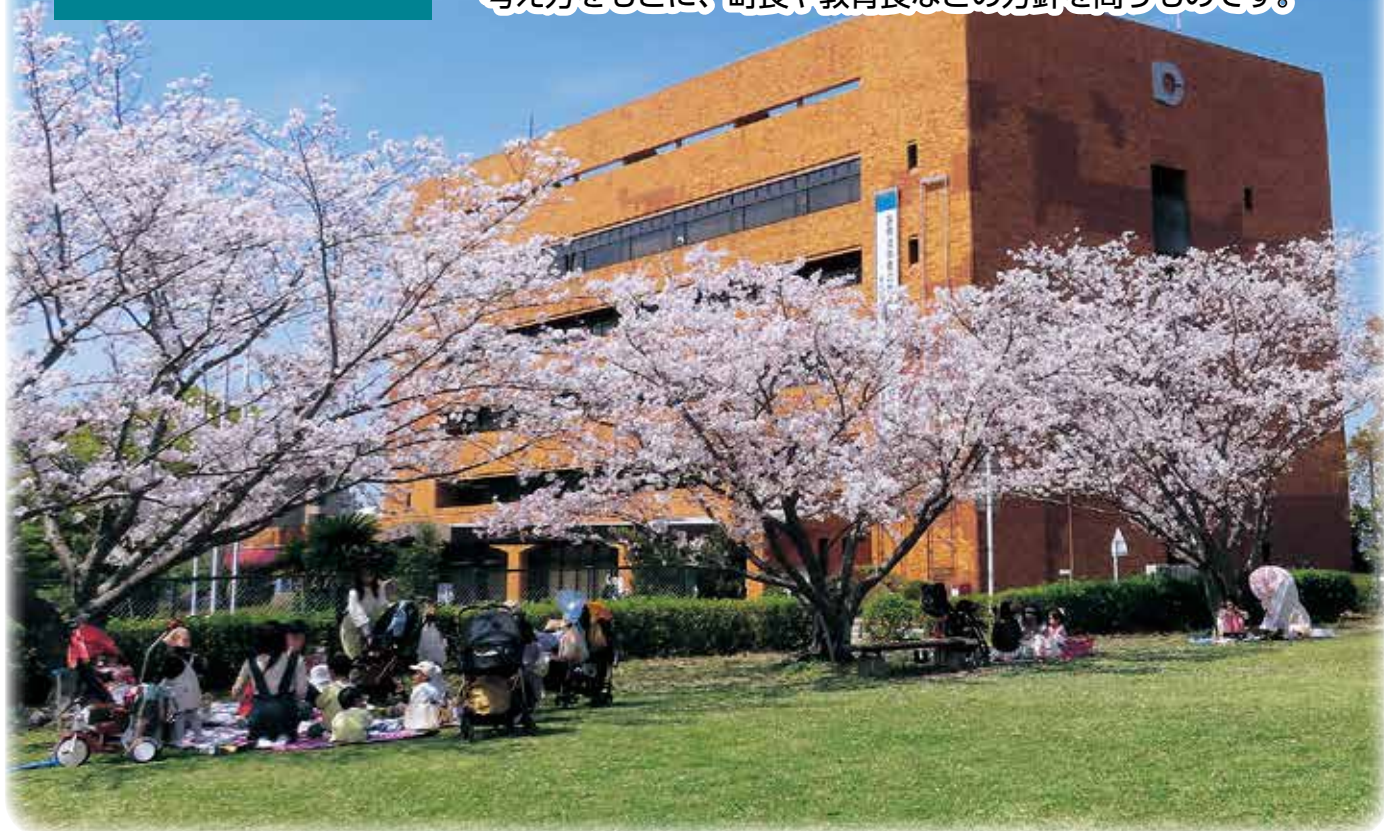


# 一般質問

# 7議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



## 一般質問事項

質問者	件名	頁
廣野 房男	1 消防団の存続に新たな施策を	13
	2 空き家の防犯上必要な措置は	
水野千代子	1 ワンストップ窓口の早期導入を	14
	2 投票済証は町独自のデザインを	
丸山千代子	1 学校給食の無償化の実施を	15
	2 中高生の居場所づくりを	
稲吉 照夫	1 20時まで延長保育拡大の考えは	16
都築 幸夫	1 安全安心な広田川改修整備を	17
	2 『どうする家康』効果の活用は	
田境 毅	1 脱炭素化に向けた具体的支援は	18
	2 導入初期費用を減らす事業を	
岩本 知帆	1 育休退園制度の緩和や廃止は	19
	2 大草広野地区福祉推進構想は	

議会傍聴記・質問議員の顔写真は別撮りしています。

## 町民の声が大切



いしかわ みちこ  
石川 倫子さん

今回の傍聴で今、議会での様な議題が取りあげられているのを知ることができました。議員が町民のために活動するには、町民の声が大切だと思います。私達一人ひとりが、常

日頃感じる便利さや不便さを声に出して、議員に届けることが大切だと強く感じました。それが、住みやすい町づくりの「源」に繋がると思うからです。限られた質問答弁の時間も無駄にせず、明確な内容、多岐にわたる議題、議員全員の発言を願うと共に、私達町民の役割も再確認できました。

議会だよりでは、質問と答弁（各30分以内）を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。



議会映像

議事録





ひろの ぶさお 議員  
廣野 房男

## 消防団の存続に新たな施策を

### 消防団力向上モデル事業の推進



**問** 全国的に、消防団員の成り手不足が深刻な状況であり、幸田町も同様である。団員の確保と消防団存続のため、以下を問う。

**答** 報酬や各種免許取得制度の見直しは、消防長▼報酬は県内最高である。

また、消防車輛を運転するための準中型免許取得経費のほぼ全額補助制度を開始した。

**問** 消防団協力事業所表示制度に加入している事業所と、その団員は何人いるか。

**答** 9事業所で、団員は11人いる。

**問** 団員応援事業協賛店を増やして欲しいという声もあるが。

**答** 現在19店の協力を得ている。新たに2店舗、1団体の加入を詰めている。

**問** 学生消防団員の活動認証証明書は、全国的に効果はあるか。

**答** 総務省消防庁により全国的な普及が図られている。効力は全国規模である。

**問** 消防団は行事の為にやっているかと思ふ団員が多い。特に階梯操法にその傾向がある。

**答** 消防団は行事の為にやっているかと思ふ団員が多い。特に階梯操法にその傾向がある。

る。消防団から切り離す考えはどうか。

**答** 消防団発足時からやっているが、伝統文化としての存続を含め、今後どうするか協議していく。

**問** 各地域の自主防災組織にある、可搬ポンプを有効活用するために、地域の防火

出初め式で頑張る消防団



出初め式で頑張る消防団

水槽を使えるようにしたらどうか。

**答** 自主防災力の強化と初期消火による被害の軽減を期待し、防火水槽の鉄蓋を開ける手鉤を自主防災組織へ貸与して、使える方向で進める。

**問** 消防団の存続のため、新たな施策はあるか。

**答** 国が進める「消防団の力向上モデル事業」に採択されるように、先進的な取り組みを、積極的に行う。

#### 空き家の防犯上必要な措置は

#### 関係部局と連携パトロール強化

他市町の空き家利活用を含めた対策事例は、参考になるものが多い地域も心配している町の空き家に対する取

り組みを問う。

**問** 本町の空き家対策は他部署に跨っている。定期的な情報交換する会議は行われているのか。

**答** 建設部長▼毎年度末に、空き家等対策担当者会議で情報交換などを行っている。

**問** 空き家所有者と連絡が取れない。町としての対応はどうか。

**答** 法律で所有者情報の内利用が規定されている。その中で文書での対応をする。

**問** 空き家敷地内の樹木が大きくなり、周辺に危険性など、迷惑を掛けているが。

**答** 周辺家屋や通行人に危険性があれば、土木課など道路管理者で対応を協議する。